

Panasonic cohort study

京都府立医科大学 内分泌・代謝内科では、パナソニック健康保険組合との共同研究としてパナソニック社において健診を受診された方を対象に「Panasonic cohort study※」を実施いたします。（※cohort研究（コホート研究）とは；仮説として考えられる要因を持つ集団（曝露群）と持たない集団（非曝露群）を追跡し、研究対象となる疾病（しっぺい）の発生率を比較することで要因と疾病発生の関連を調べる観察的研究のことです。）

実施にあたり、パナソニック健康保険組合、および京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

健診データを利用して、心血管疾患やその危険因子である糖尿病をはじめとする生活習慣病に関するデータを解析することにより、心血管疾患や生活習慣病の新たな臨床指標の開発や病態の理解を深め、医学の発展に寄与します。また、企業において健康経営を実現するうえで効果的な介入方法や介入すべき健康リスクを明らかにします。

研究の方法

対象となる方：2008年4月1日～2021年3月31日の間にパナソニック社において健診を受診された方

研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2027年3月31日

方法

健診を受診された方の体重、血圧、臨床検査値や既往歴、使用薬剤といったデータを収集・蓄積し分析します。

研究に用いる試料・情報について

健診で得られる情報、例えば年齢・性別等の基本情報、体重、血液・尿検査データ、問診データ等や埋葬料情報（死亡情報として）を研究に用います。

個人情報の取り扱いについて

血液・尿検査、問診情報などをこの研究に使用する際は、氏名、生年月日など、個人を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。個人と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、個人が特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 内分泌・代謝内科学 教授 福井道明）の責任の下、厳重な管理を行い、個人情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

試料・情報の保存および二次利用について

本研究において得られたデータは京都府立医科大学内分泌・代謝内科学 教授 福井道明の責任の下、研究終了報告日から10年まで保管し、適切に廃棄します。なお、将来、研究に用いる場合は、改めて「パナソニック健康保険組合、および京都府立医科大学医学倫理審査委員会」において承認を受けます。

既に解析のために収集された匿名化データは二次研究(メタアナリシスなど)に利用する可能性があるため、上記の保管期間を超えて適切に保管します。将来、研究に用いる場合は改めて京都府立医科大学医学倫理審査委員会において承認を受けた後に使用します。

研究組織

研究責任者：京都府立医科大学

内分泌・代謝内科学 教授 福井道明

研究担当者：京都府立医科大学

内分泌・代謝内科学 講師 濱口真英

内分泌・代謝内科学 助教 岡田博史

生物統計学 教授 手良向聡

生物統計学 助教 堀口剛

生物統計学 特定助教 内藤あかね

共同研究機関： パナソニック健康保険組合 松下記念病院 糖尿病・内分泌内科 岡田博史

パナソニック健康保険組合 産業保健センター 所長 伊藤正人

パナソニック健康保険組合 産業保健センター 黒木和志郎

お問い合わせ先

参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。また、本研究において利用する情報は匿名化されておりますが、情報が当該研究に用いられることについてご本人にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2027年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学 内分泌・代謝内科

電話：075-251-5505（担当；岡田博史）